

筑豊小児科医会会報

Vol. 178 2021. 11



Contents

- ◇ 今月のトピックス&AI-CAP 通信 (小児科 診療部長 田中祥一郎)
- ◇ 小児科関連勉強会 (オンライン配信) のご案内
- ◇ 地域連携ささえあい小児診療
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2021年8月》
- ◇ 専攻医のご紹介
- ◇ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)
- ◇ 外来診療担当表

発行：飯塚病院小児センター (飯塚市芳雄町 3-83)
(代表) TEL：0948-22-3800

今月のトピックス&AI-CAP 通信（小児科 診療部長 田中祥一朗）

小児虐待防止委員会（AI-CAP）が設立 15 周年を迎えました



小児虐待防止委員会（AI-CAP）スタッフ

はじめに

小児虐待防止委員会（AI-CAP）は、おかげさまで、本年 2 月 1 日に設立 15 周年の節目を迎えました。虐待防止活動に深い理解を示していただきました麻生泰会長、増本陽秀院長をはじめ、これまで支えてくださいました、すべての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。

児童虐待の現状

児童虐待により、子どもの命が奪われるという悲惨な事件が後を絶ちません。

2020（令和 2）年度の児童相談所による児童虐待相談対応件数（速報値）は 20 万 5,029 件で、前年度より 1 万 1,249 件（5.8%）増え、過去最多を更新しました。福岡県（福岡市、北九州市を除く）は 5,280 件で、前年度より 628 件（13.5%）増加しており、全国よりも高い増加率でした。

院内に目を向けますと、AI-CAP の対応件数も年々増加しております。

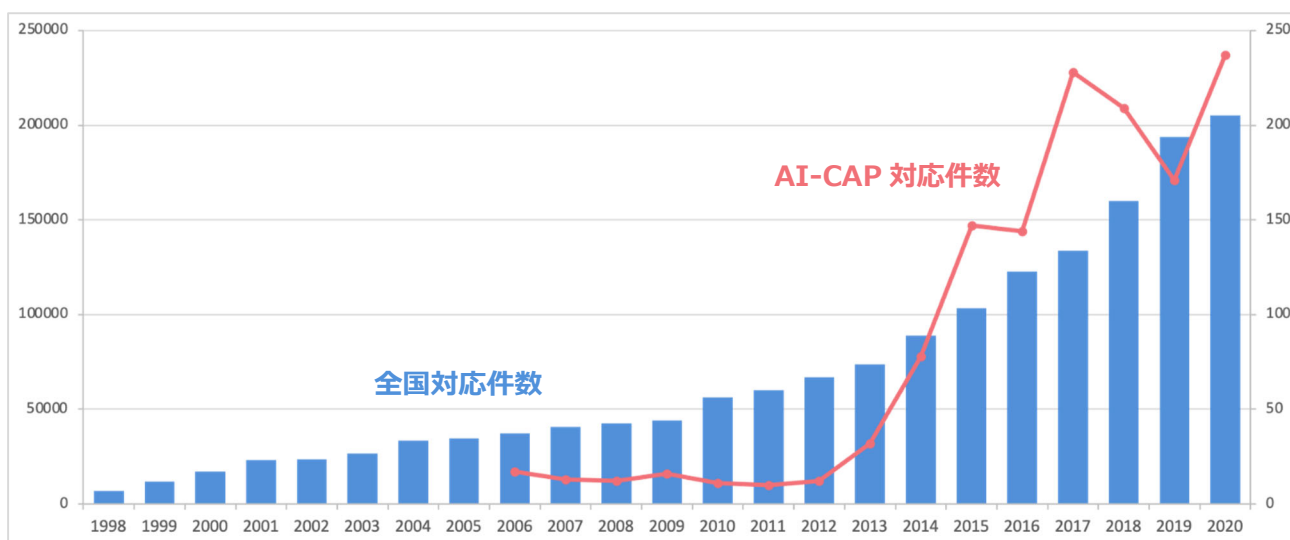


図 1 AI-CAP 対応件数の推移

AI-CAP の取り組み

全国児童相談所の対応件数が増加した主な要因として、厚生労働省は次の2点をあげています。

- ①心理的虐待に係る相談対応件数の増加
- ②警察等からの通告の増加

しかしながら、児童が同居する家庭における配偶者に対する面前DVについて、警察からの通告が増加した児童相談所とは状況が異なります。

なぜ、院内の報告件数が増えたのでしょうか。ひとえに早期発見や対応システムといった組織文化醸成の賜物と考えております。15年という歴史の中で、関係者の皆様がこれまで一緒に考え、啓発活動や連携推進など多方面でご尽力されていることに、心から敬意を表します。

子どもがすこやかに育つ、虐待のない社会を実現するために

児童虐待への対応には、医療・保健・福祉・司法・保育・教育など多くの分野が関わっており、多角的なアプローチを必要とします。一個人、一機関のみで解決される問題ではなく、多くの機関・分野の方々の協働が不可欠です。非常にすそ野の広い、複雑な問題を真摯に考え続けていくことが適切な対応への第一歩となり、その一足がすべての子どもたちの未来を考えることにも繋がります。

15周年を機会にして、より一層地域に貢献するとともに、時代の変化に対応し、子どもにやさしい社会の実現を目指してまいりますので、今後ともご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(小児虐待防止委員会 委員長 田中祥一郎)

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

小児科関連勉強会（オンライン配信）のご案内

■小児成長 WEB Seminar in 筑豊（第331回 筑豊小児科医会勉強会）

●日 時：2021年11月16日（火）13:00～14:00

➡ 講演

「成長曲線からみえる内分泌症例」

飯塚病院 小児科 田中ゆかり

「成長曲線と内分泌疾患」

福岡大学 医学部小児科 講師/飯塚病院 小児科
八ツ賀秀一

*事前登録は不要です。参加方法は案内状をご確認ください。

■第332回 筑豊小児科医会勉強会

●日 時：2021年12月9日（木）18:30～

地域連携ささえあい小児診療

近年、小児科医の不足などにより小児救急医療の確保が危ぶまれる中、飯塚地区・直鞍地区・田川地区の小児科医師が、飯塚病院小児科とスクラムを組んで飯塚病院救命救急センターの夜間小児診療に参加し、筑豊地域小児救急医療の充実を図ろうという取り組みです。

■ 2021年11月・12月分のスケジュール ■

11月			12月		
11/2	火	いいづかこども診療所 牟田 広実	12/2	木	こどもクリニックもりた 森田 潤
11/4	木	飯塚市立病院 穂吉 秀隆	12/7	火	宮田病院 甲斐 丈士
11/9	火	たなかのぶお小児科医院 田中 信夫	12/16	木	尾上小児科医院 尾上 嘉浩
11/16	火	栗原小児科内科クリニック 栗原 潔	12/17	金	荒木小児科 荒木 久昭
11/18	木	あざかみこどもクリニック 阿座上 才紀	12/21	火	ささきこどもクリニック 佐々木 宏和
11/30	火	飯塚市立病院 穂吉 秀隆	12/28	火	社会保険 稲築病院 片山 邦弘

月・水・金は穎田病院の医師が担当します。

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2021年8月》

●入院患者数 104人 ●外来患者数 1,221人 ●救命救急センター受診者数 332人

●新生児センター入院患者数 19人 ●分娩件数 34件 ●手術件数 19件

●主要疾患数（退院患者数：88人）

低出生体重児	10	肺炎・気管支炎低出生体重児	10	急性胃腸炎	6
痙攣及びてんかん	5	新生児呼吸障害・心血管障害	5	喘息	4
急性上気道感染症	1	高ビリルビン血症及び黄疸	1	腸重積・腸閉塞	1
その他	45				

●8月紹介件数

小児科：107件			小児外科：22件		
①	平野医院	7	①	ひじい小児科クリニック	2
	松尾ファミリークリニック			松尾ファミリークリニック	
③	津川診療所	6	①	宮嶋医院	1
	宮嶋医院			雪竹医院	
⑤	いいづかこども診療所	5	⑤	あざかみこどもクリニック	1
	千手医院			飯塚市立病院 ほか12件	

専攻医のご紹介

● 飯塚病院 総合診療科 専攻医 2 年目 わたなべ りょう 渡辺 亮

総合診療科専攻医 2 年目の渡辺亮と申します。

10 月 4 日から 3 ヶ月間、小児科で研修させていただきます。小児科専攻医ではないのですが、自分の出身地である愛媛県では、小児一次救急は消滅してしまった地域もあり、今後は内科一次二次救急や外科救急などで小児の患者さんを診る機会も出てくると考えております。小児科を学ばせていただけることが非常に貴重な体験であり、3 ヶ月間精一杯頑張りたいと思います。また、ここでの頑張りが地域医療への貢献へ繋がれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



● 飯塚病院 総合診療科 専攻医 1 年目 たかはしけいご 高橋啓悟

飯塚・穎田総合診療専門研修プログラム専攻医 1 年目の高橋啓悟です。

10 月 4 日より 3 ヶ月間、小児科での研修をいたします。

将来、プライマリケア外来、在宅医療を実践するにあたり、小児科の専門医の先生がどのような視点で診療をされているのか、プライマリケア医がどのような基準で紹介を考えるべきなのかを学びたいと考えております。

また、知識や技術に加えて、子どもやその家族との円滑なコミュニケーションに関しても勉強できたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



● 飯塚病院 総合診療科 専攻医 1 年目 はしもとひこたろう 橋本彦太郎

家庭医専攻医の橋本彦太郎です。生まれと大学は長崎で、出身は田川です。

高校生活と初期研修から 5 年間で奈良で過ごし、今年から筑豊に戻って参りました。

地元の地域医療を守るべく、しっかり勉強させていただきたいと存じます。

また、COVID-19 感染症を契機として、医療に関しても世界的な協力体制がますます必要となっており、将来は公衆衛生大学院へ留学し、世界的な家庭医療の学会である WONCA での活動を通して、その一翼を担いたいと考えております。

ご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。



Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

子ども達は子ども好きな大人を見分けるという話を聞いたことありませんか？相手が味方かどうかを瞬時に見分けているとも言えるでしょう。

私には子ども達に味方オーラを出す、小児科医にとって便利な特技があります。(思い込みですが、“ある”ということにさせて下さい)。

どうやるかという、子どもと視線を合わせたり、そらしたりしながら、お互いに気分が安定する距離感を探ります。近すぎても、遠くてもダメで、ちょうど良い塩梅を探るのです。

今回はこのやりとりを脳科学的に説明したいと思います。

初対面の相手に出会った時、私たちは相手を見て、声を聞き、体に触れ、匂いを嗅ぎ、さらには第六感も使って相手を感じます。

これらの感覚情報を[視床]がまとめて([]内は脳の組織)、まとめられた感覚情報は[扁桃体]が安全かどうかを感知し、[前頭葉]が判断して動きの指示を出します。その後、[自律神経(迷走神経)を含む脳神経]が働いて、視線を動かし、表情を作り、声色などを調節して、コミュニケーションを始めます。

視線を合わせることでお互いの感覚を共感し、相手が安全だと感じ、自律神経の波長を合わせる、目に見えない同調作業を知らずに行っているのです。単に目を合わせるだけの仕草ではありません。

ある人に対して「生理的にムリ」と感じてしまうことが少なからずありますが、あながちただの悪口ではなく、気付かぬうちに相手との波長のズレを感じている結果なのかもしれません。

このようなスキルを子ども達は、養育者との愛着形成の過程を通して発達させるといわれています。子ども達は建前で相手に合わせることはしないので、子ども達が子ども好きだと見分けた人は真に安心で安全な人なのかもしれません。

子ども達の私への反応は、すなわち私自身を写す鏡です。子ども達が自分に不安定な表情をする時は、まず自分の行動を振り返りましょう。「子どもの振り見て我が振り直せ」です。

最新の情報は 飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介



外来診療担当表（○初診、●再診）2021年10月1日現在

一般外来：予約・紹介状必要		月	火	水	木	金
小児科	岡松由記(小児科部長)	●		AM● PM○/● または坂口	AM● PM○/● または坂口	PM○/●または大矢
	神田 洋	AM○/●				
	大矢崇志	○/●				PM○/●または岡松
	坂口万里江			PM○/● または岡松	AM● PM○/● または岡松	
	田中祥一郎		○/●		○/●	
	齊木玲央		AM○/●			
	田中ゆかり			AM○/●		AM○/●または大矢
	嘉村拓朗			AM○/●		
	堀川洋平					○/● AM
	園田知子		AM○/●			○/● AM
小児外科	田口匠平(小児外科部長)	○/●	手術	○/●	手術	○/●
	鴨打 周	●		●		●
専門外来：予約・紹介状必要						
新生児	神田 洋		PM○/●			
神経発達	近藤里香子	○/●			○/●	
	大矢崇志		AM○/●		PM○/●	
循環器	籠手田雄介		PM○/●			
	平田悠一郎			PM○/● (第2,4)		
内分泌	八ツ賀秀一					○/● (不定期：月1回)
	喜多村美幸			○/● (不定期：月1回)		
	牛嶋規久美					○/● (不定期：月1回)
腎臓	荒木潤一郎					PM○/● (不定期：月1回)
血液内科	安藤昭和					PM○/● (不定期：第4)
アレルギー	田中祥一郎			○/●		
1ヶ月健診（金曜午後）						PM
福岡県予防接種センター事業					PM	